

■ 第 247 回北臨技講習会（生物化学免疫部門） ■

終了報告

「君たちはどう学び、どう教えるか」と題し、令和7年12月6日（土）に札幌医科大学およびリアルタイム Web 配信によるハイブリッド形式で、講習会を開催しました。本講習会では、臨床化学・免疫検査領域における教育現場の実情を踏まえ、各規模施設での臨床実習の進め方、新人教育の工夫、2年目以降のステップアップ支援、さらには管理者に求められる視点まで、教育に関する内容を幅広く取り上げました。参加者は28名（現地9名）と少人数でしたが、質疑応答が活発で、休憩中にも意見交換が続き盛況でした。

本分野では臨床実習の指導内容に明確な指定が乏しいことから、施設間でその対応が分かれ、実習内容の組み立てや指導方法などに悩む声も少なくあり

りません。アンケートでは、「どれも貴重な講演」「他施設の学生実習や新人教育法が参考になった」「講師の体験談など具体的に持ち帰りたい内容が多い」などの意見が多く寄せられました。特に、他施設での臨床実習の取り組みを知ることができた点が好評でした。また、教育体制が十分でない施設や若手技師からは、学生や周囲との関わり方、日夜勤研修の進め方、資格取得を含めた学習の必要性を再認識したとの声もありました。さらに、「同様の企画があれば他スタッフにも勧めたい」との要望もあり、継続開催への期待が伺えました。満足度は96%超と高く、今後の人材育成に繋がる講習会になったと考えます。

今後も頂戴したご意見を踏まえ、実務に役立つ有益な講習会を企画してまいります。引き続き、皆様の積極的なご参加をお願い申し上げます。
(北臨技 生物化学免疫部門長 高橋 祐輔)

■ 北海道医師会新年交礼会 参加報告 ■

令和8年1月6日（火）、札幌グランドホテルにて開催された北海道医師会新年交礼会に、北臨技から早坂会長と私が来賓として参加いたしました。来賓には北海道知事や政治家の方々、そして各医療技術団体が出席しており、会場では各団体から挨拶が行われました。北臨技からは早坂会長が会を代表して挨拶されました。医療現場での連携の重要性を改めて感じる貴重な機会となりました。今後も医師会との連携を深め、地域医療の発展に寄与してまいります。
(北臨技 副会長 品川 雅明)

■ 第 248 回北臨技講習会（血液遺伝子染色体部門） ■

終了報告

「重要ポイントにフォーカス！血液遺伝子染色体検査の基礎知識！」というテーマで、令和7年12月20日（土）～令和8年1月18日（日）の期間でYoutubeによるオンデマンド配信にて開催しました。血液遺伝子染色体検査領域を全て網羅した基礎的内容の講習会で、CBC、末梢血液像、骨髓像、凝固検査、FCM検査、遺伝子染色体検査について各講師の先生にご講演いただきました。受講者の血液検査経験歴は約4割が3年以内、約3割が4年～10年を占めていました。また、施設での配属先は「血液検査室との掛持ち」が約5割、「血液検査室以外の検査室」が約2割と血液検査室専属以外の方が多かったです。アンケート調査では、本講習会について「満足・やや満足」との評価が92.9%であり、受講者にとって有意義な講習会であったと思います。講演内容については、「血液の様々な分野について満遍なく学習できた」、「気づきや学びがありとても勉強になった」、「基礎を押さえた内容であり、再確認・復習ができた」、「普段携わることのないFCM、遺伝子染色体について知識を広げることができた」などの多くのポジティブ意見を頂いております。企画した血液遺伝子染色体部門員一同、大変嬉しく思います。また、ご講演いただいた講師の先生に感謝いたします。今後希望する企画として、「凝固検査」、「骨髓検査」、「FCM」、「検査と疾患の関わり」、「症例検討」、「学生実習」などの意見をいただいております。今後も会員の皆様が求める講習会を企画していきますので、次回の講習会にも是非ご参加ください。一緒に血液学を学びましょう。
(北臨技 血液遺伝子染色体部門長 盛合 亮介)

■ 第 249 回北臨技講習会（一般検査部門） ■

終了報告

令和8年1月24日（土）に「尿検査アップデート～他分野から学ぶ・腎泌尿器疾患～」というテーマで札幌医科大学教育研究棟Iにて開催しました。講演1では病理・細胞診分野から泌尿器の解剖、尿路上皮癌、細胞診の検査方法から結果報告方法を、講演2では微生物検査分野から尿路感染症、薬剤耐性菌、抗菌薬、尿中分析装置の測定結果の活用方法について講演いただきました。講演3では薬剤師の先生より薬剤領域から学ぶ薬剤性腎障害というテーマで、薬剤動態や腎障害、尿検査・血液検査などの臨床検査結果の活用方法について講演いただきました。講演4では尿定性検査、尿沈渣検査の基礎的内容や尿検査結果から病態推測までのプロセス、診療科へのアドバイスについて講演いただきました。

アンケート調査では、どの講演においても多くの受講者から「満足・やや満足」との評価を得ることができました。「様々な視点からの講演で新鮮かつ勉強になった」「学んだ知識を業務で活かしたい」など感想をいただき、非常に有意義な研修会になったと感じております。今後の講習会で取り上げてほしい企画として「今回のような分野を横断する企画があればまた参加したい」「尿沈渣中の異型細胞を詳しく学びたい」などがありました。いただいた御意見をもとに、今後も会員の皆様にとって有益な講習会を企画してまいりますので、参加いただきますよう、よろしくお願いいたします。
(北臨技 一般検査部門長 山田 暁)